トクヤマエムテックの断面修復工法シリーズ

TOKUYAMA トクヤマグループ

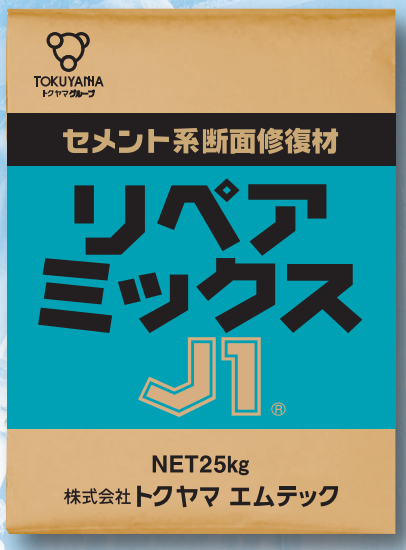
リペアミックスJ1

リペアミックス シリーズ

NEXCO断面修復（左官工法・吹付け工法）規格適合品
JR西日本認定断面修復材（湿式吹付け）

特　長

1. 早期の高強度発現性・低収縮性
2. 粉末樹脂を配合した一材型PCM
3. 良好な圧送性と厚付性
4. 優れた鉄筋背面充填性
5. 水量調整により左官施工も可能
6. 亜硝酸リチウムの混和に対応



標準配合

品　名	通常使用		亜硝酸リチウム 55kg/m³添加（NEXCO設計要領 橋梁保全編 準拠）	
	1袋当り	1m³当り	1袋当り	1m³当り
リペアミックスJ1	25kg	1,850kg（74袋）	25kg	1,850kg（74袋）
RM-40S（$LiNO_2$ 40%水溶液）	—	—	1.9kg	140kg（$LiNO_2$ 56kg）
清　水	3.4～4.0kg	252～296kg	2.2～2.8kg	163～207kg

※ 清水は施工環境や施工機械特性などに応じて、上記範囲内で調整してください。
※ 防錆剤（RM-40S）を使用する場合は事前に試験練りを行ってください。

基本物性

温度：20℃

試験項目		試験結果	試験方法
混練水量		3.7kg/袋	—
モルタルフロー（—）		147.5	JIS A 1171
モルタルスランプ（mm）		20	JIS A 1171
単位容積質量（kg/L）		2.101	JIS A 1171
硬化時間（時:分）		5：33	JIS A 1171
圧縮強度（N/mm²）	1日	13.1	JIS A 1171
	7日	40.9	
	28日	47.3	
静弾性係数（kN/mm²）	28日	21.2	JIS A 1149
接着強度（N/mm²）	28日	2.4	建 研 式
乾燥収縮（%）	28日	−0.046	JIS A 1129

※試験値は社内試験による測定例であり、保証値ではありません

適用例

橋脚鉄筋増設工事

床版補強工事

亜硝酸リチウム混和時の吹付け性状

株式会社トクヤマ エムテック

使用方法　詳しくはリペアミックスJ1 施工要領書をご覧ください。

1 下地処理
①施工面の浮き部、ひび割れ部やその周辺の脆弱部をはつり取り、油分、塵埃等を除去してください。
②露出鉄筋の防錆処理が必要な場合は、下地強化を兼ねてリペアペーストを全面塗布してください。
③下地の吸水が激しい場合は、吸水調整材を塗布してください。

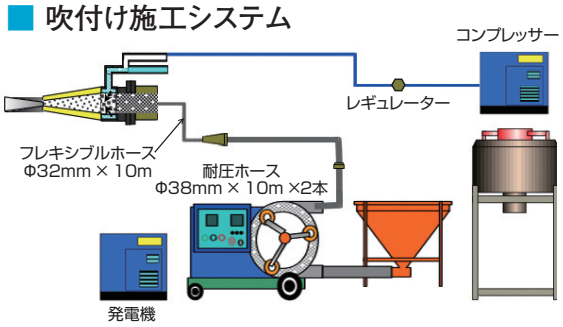
2 施工準備
①吹付け施工する場合は、圧送距離50mを限度に、ミキサー、ポンプ等の機材を適切に配置した後、ホッパーからセメントノロを圧送してください。
②左官施工する場合は、施工箇所周辺を汚損させないようにシート等で養生してください。

3 練混ぜ
①粉体を投入したモルタルミキサーに所定量の清水を加えて、3分間以上丁寧に練混ぜてください。
②亜硝酸リチウムを添加する場合は、バケツ等で清水とよく混合してからミキサーに投入してください。
※水量は施工時の気象条件、施工規模、機械特性などに応じて適切な粘性になるよう調整してください。

4 施 工
①吹付け施工する場合、1回の吹付け厚は壁面で60mm、天井面で40mmを限度とし、吹き重ねる場合は、前層の指触硬化を確認してから施工してください。
②左官施工する場合、少量を下地によく擦付けて馴染ませた後、追っかけて所定の塗り厚に仕上げてください。

5 養 生
①モルタルの締り具合を見て仕上げ押えしてください。
②急激な乾燥を防止するため、被膜養生剤の塗布、またはシート等で覆って施工面を養生してください。

吹付け施工システム



関連商材

鉄筋防錆剤

塗布型防錆剤
リペアペースト

亜硝酸リチウム
RM-40S

犠牲陽極材
バッチガード

急結剤

アルカリフリー急結剤
マスターロックSA161

吸水調整材・被膜養生剤

PAE系エマルション
リペアプライマー

EVAエマルション
キープションK-100

※商品の詳細については弊社までお問い合わせください。

危険
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。発がんのおそれ。臓器の障害(呼吸器系)。長期にわたる又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系・腎臓)。

【安全対策】・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
・粉じん、ヒュームを吸入しないこと。
・取扱い後はよく手、顔を洗うこと。
【保　管】・部外者が触れないような措置をし、保管すること。
【廃　棄】・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

【応急措置】・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・皮膚に付着した場合：水またはシャワーで洗うこと。
・眼に入った場合：よく水で洗浄し、直ちに医師に連絡すること。
・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

本製品の安全な取扱いについては、安全データシート(SDS)をご確認ください。

⚠注意事項
【使用上の注意】・気温が5℃以下の場合は施工を中止するか、保温状態がとれる環境で施工すること。
・破袋または一度開封して放置された材料は使わないこと。
・本製品はセメント製品につき湿気厳禁。雨露や直射日光を防ぎ、パレット等を敷き床面から離し、通気のよい場所で保管し、製造後3ヶ月までを目安に使用すること。

【カタログに関する注意事項】・本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。
・本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。
・本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。
・本カタログは2020年12月に作成しました。

株式会社トクヤマ エムテック
URL http://www.k-tokuyama.co.jp

ISO 9001 JTCCM QSCA RQ 1957 (登録範囲)http://www.jtccm.or.jp/
JAB CM015

本社・東日本事業部		103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-2-5　ERVIC人形町6F TEL 03-5643-3601　FAX 03-3249-3615
中日本事業部		573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3 TEL 072-857-2770　FAX 072-857-1125
西日本事業部	中国営業所	745-8648 山口県周南市御影町1-1(株)トクヤマ セメント開発グループ2F TEL 0834-62-7201　FAX 0834-62-7202
	九州営業所	812-0055 福岡県福岡市東区東浜2-82-2 TEL 092-642-9070　FAX 0834-62-7202
首都圏セメント建材開発センター		299-0268 千葉県袖ケ浦市南袖10 TEL 0438-60-8770　FAX 0438-60-8370

工　場 / 枚方工場(大阪)　袖ヶ浦工場(千葉)　九州製造拠点:(株)熊本硅砂鉱業(熊本)

販売店

2020.12.000 第7版